

# 議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN

No.153  
2010年 4月27日



新生入善中学校でスタート 固い握手

3月定例会

公共施設の耐震化に基金3億円 (平成22年度予算) 2~3p

運動公園野球場グラウンドの改修へ (補正予算) 4p

子ども手当財源の地方負担に反対 (議員提出議案) 5p

まちなかアンテナスーパー設置へ (常任委員会レポート) 6~7p

町政を問う 代表・一般質問 (10議員) 8~17p

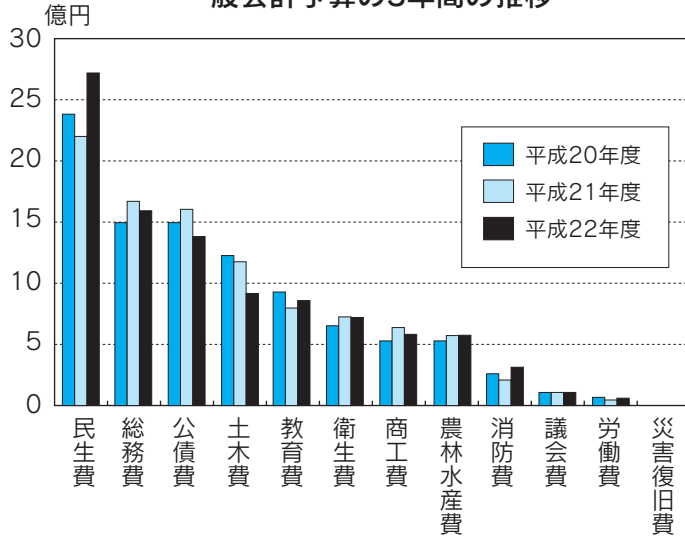
2010年 花の年にしましょう (生涯現役) 18p

# 平成22年度 予算

## 公共施設の耐震化に向け3億円の基金

4つのコミュニティ施設と消防庁舎を対象

一般会計予算の3年間の推移



町税収入は、不況の影響で、本年も前年度比1億3560万円の減収を見込んでいる。財源不足を補うために、国からの地方交付税に相当する臨時財政対策債を5億4000万円とし、基金（貯金）から5億2000万円を取崩す。

歳出での民生費の大幅増は、新たに子ども手当に4億2380万円が当てられることによる。（うち3億3434万円は国負担）

土木費の大幅減は、中央通り線や花月公園の完成によるものである。

消防費の増は、消防署の耐震改築に向けて1億円を新たに積立てることや、舟見分団の消防自動車を更新するためである。

### 新年度予算の特徴

一般会計 97億5千万円  
特別会計 51億3千万円（7会計）

3月議会は、4日から19日まで開催され、平成22年度の一般会計と特別会計予算など8件、21年度補正予算2件、条例の制定・一部改正など9件を審議し、すべて可決した。

町税の減収に、基金5億2千万円の取崩しでカバー

### 主な事業

#### (1) 安全・安心のまちづくり

耐震化されていないコミュニティ施設（飯野・横山・舟見・野中）と消防署の整備に向け、それぞれ基金を創設する。

3億円

幹線町道に架かる橋の長寿化対策の調査を実施する。

175万円

昨年の入善漁港の護岸嵩上げに続き、消波ブロックを追加整備する。

6940万円



新築待たれる消防署

#### (2) 食育と健康のまちづくり

#### まちづくり

うるおい館近くに「アンテナスーパール」を開設し、地産地消の推進を図る。

467万円

・「うつ病」予防に、講演会、出前講座などで啓発を図る。

115万円

### (3) 地球温暖化

#### 防止対策の推進

・新エネルギーの活用の可能性について調査を行う。

50万円

・住宅に太陽光発電システムを設置する際、1軒につき10万円を支援する。

150万円

### (4) 地域支え合いの

#### まちづくり

・地域コミュニティ組織のあり方と町との連携のあり方について、モデル地区を選定し検討する。

30万円

・新たに所得の低い障害者の福祉サービス利用料を無料にするなど、障害者の自立を支援する。

3億2220万円

### (5) 生み育てやすい

#### 環境づくり

・小摺戸と新屋の統合保育所の建設に着手する。

3億400万円

・不妊治療費助成の限度額を、これまでの10万円から20万円に引き上げる。

300万円

・中学生以下の子どもを対象に、一人につき月額1万3000円の子どもの手当を支給する。

4億2380万円

### (6) 人口増・定住化の促進

・これまで誘致した企業の設備投資や固定資産税などに助成を行う。

9136万円

・宅地購入補助20万円に、町外から入善町に定住するため宅地購入した場合に30万円を加算。

500万円

### (7) 地域経済活性化

・国の中小企業緊急雇用安定助成金に、町が50万円を限度に上乘せし支援する。

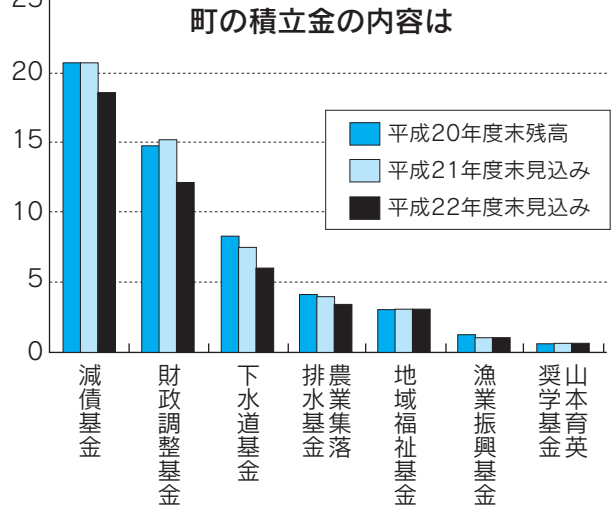
500万円



小摺戸・新屋統合保育所建設予定地

億円

#### 町の積立金の内容は



町には22の基金（積立金）があるが、主な基金の3年間の推移を表した。

減債基金は、借金返済に備えるもので、平成21年度末の残高は20億7000万円、財政調整基金は、財源不足に備えるものであり15億800万円を見込む。

新年度は、税収不足などにより、両基金で5億2000万円を取崩す。平成21年度は当初、4億6000万円を計画していたが、余剰金などにより取崩しは不要となる見込み。

地域福祉基金は、利子を高齢者などの福祉に充てている。

また、山本育英奨学金基金により、大学生に奨学金を貸与している。

## 平成21年度

# 3月補正予算を可決

・一般会計	2億6085万円の増額
・下水道特別会計	2862万円の減額

### 主な事業

- 除雪対策事業費 3300万円
  - 広域圏事務組合費 4849万円
- ケーブルテレビ事業に対し、町へ交付される臨時交付金を事業主体の新川広域圏へ納付する。

### 地域活性化・きめ細かな臨時交付金事業

9150万円

国の緊急経済対策に対応し、さまざまな事業を行う。

- ・サンウェル外壁の塗装修繕
  - ・スマートICからの案内誘導施設の設置
  - ・林道奥中野線の舗装・改良工事
  - ・通学路などの舗装・改良工事
  - ・公園などの安全施設、トイレの改修
  - ・飯野小学校の渡り廊下修繕
  - ・運動公園野球場グラウンドの改修
- など

このことにより、一般会計は、総額105億2719万円、下水道特別会計は、事業費の確定に伴う減額で、総額9832万円となる。

## 条例の制定・改正

次の条例案を審議し、可決した。

### 入善町コミュニティ施設建設基金条例の制定

耐震化されていない公民館などの改修・建設のため、基金を設置する。

### 入善町消防防災センター建設基金条例の制定

老朽化が進んだ消防署の建設のため、基金を設置する。

### 入善町の職員の給与に関する条例及び入善町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

労働基準法の改正に伴い、町職員の手当などの改正を行う。また、人事院勧告に伴い町職員の勤務時間を変更する。

### 入善町下水道条例の一部改正

新しく設置される「クリーンぼ〜と」からの汚水の使用料を定める。

### 入善町立小中学校設置条例の一部改正

舟見中学校の閉校に伴い、改正する。

### 入善町火災予防条例の一部改正

カラオケボックスなどの火災に対応し、避難通路の管理を追加する。

### 入善漁港施設の指定管理者の指定

- ・指定管理者となる団体の名称  
入善漁業協同組合
- ・指定の期間  
平成22年4月1日から  
平成27年3月31日まで



新し尿処理施設「クリーンぼ〜と」竣工

## 議員提出議案

次の意見書を可決し、国へ提出した。

### 核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書

今年開催される核兵器の不拡散に関する条約再検討会議で、核兵器廃絶に向けた「ヒロシマ・ナガサキ議定書」が採択されるよう、国の主導的役割を求める。

### 夫婦別姓制度の導入に反対する意見書

夫婦別姓制度については、婚姻制度に重大な影響を及ぼし、国民的合意には至っていないことから、夫婦別姓制度の導入に反対を求める。

### 子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

子ども手当支給に対し、地方への負担に配慮することを求める。

### 生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を求める意見書

生産性の高い競争力に富んだ農家の育成を進める施策の充実を行うよう求める。

### 教育公務員特例法の早期改正を求める意見書

教育公務員の政治的行為の制限を定めた「教育公務員特例法」に罰則を設けるよう求める。

### 永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書

永住外国人への地方参政権付与については重大な問題であることから、拙速な結論を出さず十分議論することを求める。

### 教育再生・教育の正常化の徹底を求める意見書

教育の政治的中立・教育の正常化に取り組むよう求める。

### 子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書

平成22年は「国民読書年」であることから、子どもの読書活動を推進するための十分な予算を確保するよう求める。

### 入善町固定資産評価 審査委員会委員の選任

平成22年3月19日で任期満了となる  
朴木静志氏の後任として、愛場巖氏の  
選任に同意した。



愛場 巖氏  
いわた 巖  
入善町舟見

## 陳情

### 「協同出資・協同経営で働く協同組合法」 (仮称)の速やかな制定を求める意見書 採択に関する陳情書

陳情者

企業組合労協センター事業団  
魚津地域福祉事業所スマイルぼびー

ほか1団体

働く者や市民が協同で出資し、協同で経営にあたり、協同で働く「協同労働の協同組合法」(仮称)を早期に制定するよう国に対して意見書の提出を求める。

### 反対多数で不採択とした

### 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」 に反対を求める意見書提出に関する陳情

陳情者

夫婦別姓に反対する県民会議

婚姻制度や家族のあり方に重大な影響を及ぼす夫婦別姓制度は、導入に対する世論も分かれており、まだ国民的合意には至っていないことから、夫婦別姓制度を導入することのないよう国に対して意見書の提出を求める。

### 賛成多数で採択とした

# レポ ー ト

## 総務 常任委員会

**町税が対前年度比  
1億3560万円の減**

**Q** 本年度の税収をどの  
ように見込んだか。

**A** 町税は厳しい状況で、  
個人町民税は昨年の  
90%、法人町民税は82%  
と見込む。固定資産税は  
微増、軽自動車税は軽四  
の台数の伸びで増。たば  
こ税は本年度税率が4割  
上がるが、消費減で若干  
の増。  
これらをもとに算定し  
た。

**新総合計画策定委託  
の業者は**

**Q** 総合計画策定と業者  
の選定理由を示せ。

**A** 県内市町村の総合計  
画をたてたことのある  
5社から、金額と提案  
を受けて決定している。

**庁舎空調工事に11  
13万円、工事の方法は**

**Q** 省エネの時代に現状  
をベースにして改修、  
それでいいのか。

**A** 1階空調機は、現状  
のボイラー方式から  
ヒートポンプ方式に変更  
するには、億単位の費用

がかかる。少ない金額で  
冷・暖房を現状のものを  
ベースにして改修する。

**地域活性化・きめ細か  
な臨時交付金とは**

**Q** 地域の活性化を図る  
ためのきめ細かな臨



改修予定 湧水公園内のトイレ

**A** 時交付金の内容を示せ  
建設地方債の対象と  
なるハード事業に限  
られている。

事業としては、通学路  
などの舗装・改良工事、  
公園などの安全施設・ト  
イレの改修などである。  
できるだけ町内業者にと  
考えている。

## 消防車両更新

**Q** 消防車両購入費とし  
て1365万円余の  
予算となっている。今後  
の導入計画も含め示され  
たい。

**A** 更新は1台20年を目  
安として計画をたて  
ている。今回は20年目を  
迎える舟見分団に導入す  
る。

## こんな意見も

●新エネルギー利活用基  
本調査は、水の町入善に  
ふさわしい内容とすべき  
だ。

●地域コミュニティパー  
トナーシップ事業は、地  
域のあり方を地元主導で  
考えていくとあるが、何  
をするのか。役員の選出  
すら難しくなっている。

●資源リサイクル広場の  
管理が大変。ルールを守  
つて資源の出し方に気をつ  
けるべき。

●老人福祉費の紙おむつ  
給付券、900円券が使  
いづらい。価格を調査し  
使いやすい制度に改める  
べきだ。

●町職員の健康管理上、  
労働形態、有給休暇の取  
得率が低いなど懸念され  
る。  
民間はグループ対応で乗  
り切っている所もある。  
工夫が必要。

# 常任委員会

## 産業教育 常任委員会

まちなかアンテナスーパー設置の内容を示せ

**Q** うるおい館前に467万円でまちなかアンテナスーパーを設置するとあるが。

**A** 地産地消の推進を目的に12坪程度のコンテナハウスを設置し、消費の動向などを見ながら1年間かけて試験的に取り組む。実施は農業公社に委託したい。

**Q** うるおい館駐車場確保のために、スーパーが無くなった。そのため戦略なき場当たりの取組みではないか。  
空き店舗対策としての起業チャレンジの制度もあれば、うるおい館の一部をアンテナショップとすることも考えられる。

**A** うるおい館の朝市と相乗効果を挙げるよう連携をとって取組みた

い。うるおい館の活用については、補助金適正化法により、当分は改装できない。また空き店舗の利用についても検討したが条件が整わなかった。

とやまの園芸ブランド  
産地強化事業の状況は

**Q** この事業で取組まれているものはなにか、その状況はどうか。

**A** 現在、ハウスを利用した切り花、白ネギと、桃の生産を行っている。この地域に合うもの、栽培技術、販売戦略など特産品の定着に力を入れている。

地場水産特産物活用  
促進事業委託の内容は

**Q** この事業で取組むものはなにか、内容を示されたい。

**A** 深層水活用施設の周辺で、常設テントを設置し、アワビの浜焼き

を中心に、海洋深層水、魚介類の販売、PRを行いたい。

**Q** 夏場にこの施設を訪れる人はどれくらいか。人の流れのないところで成功するのか。町民の理解を得られるか。

**A** 月に200人位と思っているが、観光の視点から地場のものは地場で食べるのがポイントと想っている。内容的に詰めなければならぬ部分もあり、検討したい。

スクールバスの途中エリアでの乗車は

**Q** 入善中学は、舟見・野中の生徒が対象とのことだが、小杉など途中エリアでの乗車はどうか。

**A** 安全のことを考えて、舟見・野中の生徒を対象とした。その他については、相談して対応したい。

## こんな意見も

●スクールバスを利用できない地域もある。不公平感の問題を考慮すべきだ。

●スクールバスの有効活用など、町民全体の足の確保を考えるべきだ。

●富山は米に力を入れてきたが、そのほかの作物

にも工夫が必要。園芸や特産品にも力を入れて欲しい。

●入善町は水がおいしい町だというが、その水をどこで飲めるのかと聞かれたことがある。イベントへの投資も必要だが、駅前には噴水など考えられないか。



朝市 アンテナスーパーとの相乗効果を期待



スクールバスで安全第一

## 新年度予算編成の基本的理念・特徴は

### 町長 「自助・共助の推進」主要課題に重点配分



谷口 一男 議員（アクセス入善）

**問** 国の方向が定まらないなかで、新年度予算編成に困難を極めたものと思うが、その基本理念と特徴は何か。

**米澤町長** 「自助・共助の推進」を基本理念に、

主要課題である「安全・

安心のまちづくり」「地域

支え合いのまちづくり」「

生み育てやすい環境づくり」「人口増・定住化

の促進」「地域経済の活性化」などへ重点配分を図った。

また、今後10年間の新

総合計画に繋ぐ予算とした。

**町長選出馬の考えは**  
**町民の理解を頂けるなら、責任を果たしたい**

**問** 23年度から始まる新総合計画を策定する重要な年、単独町政を選択し、地方分権が推進されるなか、町長選挙出馬への所

信を聞かせよ。

**町長** 自治体経営の責任者として町民の負託に応

えられるよう努めてきた。皆様方の理解と協力があつ

たからこそと感謝している。

まちづくりの目標を町民と共有し、明日の入善

町を築いて参りたい。新総合計画を軌道に乗せ、

実行していく責務がある。

また、地域主権が取り

ざたされるなかで、行政経験を生かし、自立に向けた改革を継続していく

責務もある。

町民の理解が頂ければ町長としての責任を果たしていきたい。

利便性の良い混乗できる交通体系は

財源や継続性など前向きに検討する

**問** 4月から舟見中学が統合されることによりスクールバスが運行される。

冬季期間、保護者負担

などで運行していたスクールバスも22年度より無料

になる。

これを契機に、児童生徒はもちろん、一般町民

も混乗できる利便性の良い公共交通体系を構築すべきではないか。

**林副町長** 今後の高齢化を考えると、誰もが利用

しやすい町民の足となる地域交通に力を入れていくべきと考えている。

通学時間帯以外はワゴン車で巡回することや、

民間活力を導入することも有効な方法と思う。

運行にかかる財源や継続性など、前向きに検討

し、早期に結論を出したい。

小1プロブレムの現状と対策は

「幼保小ふれあい事業」で総合理解を図る

**問** 小1プロブレムとは、

入学したばかりの児童が、集団生活に適應できず、

先生の話も聞けず、騒いだり、歩き回ったりして、

授業が成り立たない状況を言うが、町の現状と対策はどうか。

**滝本教育長** 現状では見受けられないが、今後、

対処していかなければならない問題と認識している。

「幼保小ふれあい事業」を推進し教員や保育士の

総合理解を図る。

保護者には、積極的に子どもとふれあい、規則

正しい生活習慣を身につけさせ、年齢にあった体験をお願いしたい。



## スクールバスに住民混乗や町営バスとの 一体化の検討を

### 副町長 検討し早期に結論を出したい

**問** スクールバスへの住民混乗や町営バスとの一体化を検討する考えはあるか。

**副町長** 文部科学省は一般住民の混乗を認めており、多くの自治体が行っている。方法を検討し、

できるだけ早期に結論を出したい。

**問** 舟見から入善中学校までの距離は約9km、標高差約100m、西中学校区を挟んだ飛地だ。スクールバスは通年運行が原則であり、夏休み中の部活動にも運行すべきである。

**教育長** 課業期間の運行としたい。



学童保育で勉強も、お遊びも

**財政圧迫は新政権で是正されたか**  
**されていない。財源の復元を要望していく**

**問** 旧政権による入善町への財政圧迫は、新政権で是正されたのか。  
**町長** 三位一体改革で、

町財政は年間約6億円の財源が削減された。地方交付税の増額などはあるが、影響額には届かない。財源の復元と増額を国に要望していく。

**町が助成した企業は町民を雇用しているか**  
**多数の町民を雇用している**

**問** 町から企業立地や雇用創出の助成を受けた企業は、積極的に町民を雇用しているか。  
**労働者派遣法の抜本的な改正を緊急に行うように国に求めるべきだ。**  
**寺崎農水商工課長** 助成対象の企業は町民を多数

雇用している。  
 派遣法の改正は緊急の課題と考える。

**子どもの医療費助成拡大を**  
**町は県内トップクラス**

**問** 子どもの医療費助成の所得制限を撤廃し、中学3年生まで拡大する考えはあるか。

**町長** 所得制限は制度継続のためにもやむを得ない。町の助成は県内トップクラスである。

**認知症の方への対応はどうか**  
**新川地域介護保険組合と連携して努めたい**

**問** 介護度1や2の認知症の人の家族は大変だ。対応策を考えているか。  
**診療報酬の改定で、75歳以下でも入院が90日を**

超えると退院を迫られることが懸念される。

**金澤健康福祉課長** 認知症の方については、新川地域介護保険組合と連携し、適正なサービス提供に努めたい。

病院が「退院支援状況報告書」を地方厚生局へ毎月提出すれば、退院を迫られることはない。

**すべての校下で学童保育を**  
**希望する地域と協議したい**

**問** 学童保育は、希望する子どもがみんな入れるように、人も施設も確保し、全ての小学校下で行う考えはあるか。  
**教育長** 実施しているところは運営方法の改善を検討したい。  
 開設を希望する地域の関係者と協議したい。



九里 郁子 議員 (日本共産党)



カラオケで楽しいひととき



中瀬 範幸 議員

在宅介護支援の実態を把握しているか  
一人暮らし、老老介護などの実態は  
健康福祉 一人暮らし103人、老老介護127人  
配食サービスなどを展開

問 特養ホームなどへ入所できない、在宅介護の実態を把握しているか。そのうち一人暮らし、老老介護などの実態は。

健康福祉課長 要介護認定者1318人の内デイサービス400人、ショートステイ158人が利用している。

このうち一人暮らし103人、老老介護の方は127人である。

在宅支援の強化のため配食サービスや町独自のサービスを展開している。

地域密着型の「宅老所」を設置すべきた

関係各位の協力を得て検討していく

問 空き家、旧保育所などを利用した地域密着型の「宅老所」を設置すべきた。

健康福祉課長 「いつまでもこの町で暮らしたい」の願いに応え、小規模で地域的な見守りなどを行う老人施設として、宅老所のあり方を関係各位の協力を得ながら検討していく。

健康福祉課長 「いつまでもこの町で暮らしたい」の願いに応え、小規模で地域的な見守りなどを行う老人施設として、宅老所のあり方を関係各位の協力を得ながら検討していく。

深層水関連事業に17億円余も投資した評価は町のイメージアップやブランド化に取組んだ

問 海洋深層水関連事業は「無限の可能性を秘めた夢の資源」だ。

米澤町長は、重点施策として17億円余も投資した。

10年経過したその評価

は。

町長 養殖事業を中心とした水産業の振興と企業団地への送水、商品加工支援のほか、入善町を全国にPRし、町のイメージアップやブランド化に取組んだ。

しかし、深層水を「利用しきつている」とはまだ言えない。さらに工夫し「活性化の起爆剤」として、有効活用したい。

不採算のアワビ養殖経営を民間に移管しては漁協に、危機感を持ち研さんせよと指導していく

問 アワビ養殖は現在も軌道に乗っておらず、不採算から脱却できていない。

町は飼育確立支援として、莫大な支援をしてきたが課題が多い。

経営を民間へ移管し、責任体制を強化するなど

判断をすべき時期では。町長 今年、設備の改良が完了した。生産体制が整い販売体制も強化した。漁協には、危機感を持つて更なる営業活動の推進、生産・販売に、一層研さんするよう指導していきたい。

浜焼き施設を人が集まる市街地へ設置しては深層水活用施設の周辺へ設置する

問 地場水産物の浜焼き施設は、うるおい館周辺や市街地など、人の多い所、消費地に近い所に設置すべきでは。

町長 国の100%補助事業で、夏場など一定の期間に実験販売するもの。

園家山キヤンプ場周辺に県内外から多くが訪れる。深層水活用施設の周辺に設置する。

高齢者がくらしやすい町づくり施策は

町長 「自助・共助の推進」で地域支え合いのまちづくり



今日も のらんマイカーで

**問** 我が国の高齢化は、世界一と言われている。高齢化と少子化問題は、避けて通れない。

町民が安心して暮らせるよう、町はどのような施策を考えているか。

**町長** 町政に求めているのは、こうした課題に対し、将来にわたって「安全で安心」に暮らせる生活を確保することだと思っている。

こうしたニーズに対応するために、新年度予算では町民の幸せ第一とする姿勢を崩すことなく「自助・共助」を理念とした、さまざまな施策をバランスよく展開することが大切。

高齢化の実態と交通弱者の移動手段は

足を確保する目的で「のらんマイカー」運行

**問** 町の高齢化は止めようがない事実である。高齢化の実態はどうか。

一人暮らしの高齢者、高齢夫婦世帯などが自分の好きな時、行きたい場所に移動が出来るか、医療機関の通院など、交通弱者にとって問題がないか。

**町長** 高齢者の実態について、65歳以上が7640人、高齢化率28.1%、一人暮らし高齢者770世帯、高齢者夫婦世帯791世帯となっている。

こうした高齢社会において、社会参加、生活用品の買物、通院などの足の確保については、その一つとして公共交通の充実が求められている。

町は交通弱者のために町営バスを運行している。現在のコースについては見直しを行い、より利用しやすくなるよう努めている。

今後の移動手段として、バス交通だけでなく地域交通のあり方を検討していくことが重要と考えている。

**問** 地区内の商店の廃業が進み交通弱者が不自由を感じている。町の対策は。

**健康福祉課長** 量販店が

県内に新店が出たことにより、これまで営業していた店が、売上げの減少や後継者不足などで、閉店する商店が増えている。

近所の身近な商店がなくなり、食品、生活用品が手に入りにくくなることは高齢者、障害者にとって大きな問題であると認識している。

県外では、事業者が農村部や各集落を中心に移動販売車で巡回販売する取り組みもしている。

地元商店街の店主、団体、農業者など担い手となつて巡回販売など行なうことが出来ないか、各地域の環境を踏まえた対策が必要と考える。



山下 勇 議員



CO<sub>2</sub>削減に貢献 風力発電

入善・舟見中学校統合「安心して通学し、楽しい学校生活を送る」ための取組みは

教育長

安全確保を第一優先し、舟見・野中地区からスクールバスを運行する



佐藤 一仁 議員

**問** 生徒たちが安心して通学し、楽しい学校生活を送るための取組みは。

また、保護者や町民の不安を解消するための配慮やその取組みは。

**教育長** 舟見・野中地区

からの通学は、生徒の安全確保を第一に考え、スクールバスを運行する。

バス停は舟見地区5カ所・野中地区3カ所で、利用しやすいところに設置し、安心して通学できるよう配慮する。

また、楽しい学校生活を送るための取組みについては、生徒同士の交流を通して、お互いに知合い、親睦を図るために、昨年7月より野球部の合同練習やバドミントン部、バレーボール部、美術部などさまざまな交流活動を実施した。保護者や地域住民の不安解消のために、ひばり

野小・舟見中のPTAと教育委員会で細部にわたる協議している。

**問** 生徒たちを温かく見守るための、各地区への取組みはどうか。

**教育長** 町区長連絡協議会で区長の皆さんにお願いをした。

広報入善で2月の交流授業の様子も紹介した。4月以降も温かく見守られるような環境づくりに取組む。

**問** 自転車通学の許可を。

**教育長** 統合当初は生徒たちの緊張感も高くなり、心にゆとりが少なくなるなど考えられるので、安全第一のためスクールバス通学をお願いしている。

ある程度の期間経過した後には生徒、保護者、学校で協議し安全確保が出来れば対応も考える。

**問** 町全体の冬季スクールバスの検討を。

**教育長** 舟見・野中地区からは、遠距離、高低差、県道の幅員や歩道の状態などを考慮し、スクールバスを運行することにした。

入善西中学校や黒東小学校では、地域や道路事情など、一概に対応できにくい面があるが、不公平感のないよう対処する。

新エネルギー事業への取組みは慎重に見極めながら対応したい

**問** 風力・小水力発電へ

の取組みと町の風景づくり、観光面での利用への考えはないか。

**町長** 町の風力発電は概ね順調と思う。

新たな導入については、世界的需要の増加から機器の価格が大幅に値上がりし、かつ、少数の受注は困難と聞いている。

また、北陸電力への連系も変更が生じ、検討が必要だ。小水力発電は水利権や初期経費の問題がある。

風車などは複数基のほうが景観や観光面で期待できるが、国の動向を見極めながら導入を図る。

県内ワーストワンの自殺率に対する町の対策は

町長 相談しやすい環境づくり、優しく見守る地域づくりに取り組む

問 年々増加傾向にある自殺を防止する取組みが急務である。本町は自殺

率が県内ワーストワンであり、抜本的な対策は。

町長 生活の困難や心の危機を抱えて悩んでいる人のために、24時間体制で相談できる窓口の設置を県に働きかける。

うつ病対策に取組み、専門家による講演会や保健師による出前講座などを通じ、うつ病に対する理解と早期発見、治療に結びつく活動を展開する。また、町内医師会や薬剤師会の協力を頂き、情報交換や連携を図るとともに、職員の相談能力を高める研修にも取り組む。



美味しい水を求めて 高瀬湧水の庭



笹島 春人 議員

全小中学校で公平な学童保育の実施を  
 新年度で全小中学校区での実施を検討する

問 町内で学童保育が実施されてから11年が経過するなかで、未だに実施の見通しすら立たない学校がある。少子化による学校の「空き教室」を活用し、全小中学校で公平に早急に実施すべきである。  
 小森教育委員会事務局長 学童保育未実施地区では約4割が学童保育を希望しており、ニーズの高まりを感じている。  
 新年度に、全小中学校での実施に向けて、開設場所や指導員の確保、運営

方法などについて区長会やPTA、学校など地域の関係団体と協議する。  
 また、指導員報酬を見直すなど、指導員の待遇改善にも取り組む。

「空き教室」を利用したの実施となれば、教室の配置などの見直しや管理体制について検討する必要はある。学校施設の転用や改修などについて県や関係機関と協議したい。

園家山周辺の観光開発は  
 現在策定中の、新総合計画の中で検討する

問 園家山周辺に点在する「水」をテーマにした各施設の抜本的な見直しと、観光開発に取り組む町

の考えは。

梅津企画財政課長 勤労青少年ホームは老朽化が著しく、いずれ取り壊すことになるが、キャンプ場管理のための施設整備は必要と思われる。

キャンプ場や周辺施設全体の見直しについては、新総合計画のなかで、より魅力が高まるよう検討する。

園家山を中心とする飯野北部には、高瀬湧水の庭や海洋深層水取水施設など、町の誇るべき水に関わる施設が点在している。

水をはじめとする町の魅力のPRについては、ポケットガイドブックの作成などによる情報発信に努める。



着々と進む ほ場整備(古黒部)

## 転作作物と地権者への補償を

### 町長 「とも補償制度」を工夫し、前年度並みに



松田 俊弘 議員

**問** 新政権の農業政策で農家は混乱した。転作物には、米並みの補償と、地権者への補助も必要と思うがどうか。

政府は土地改良予算を大幅に削減した。古黒部

地区の基盤整備の予算の確保を国に求めよ。

**町長** 転作物物によって、助成額が大幅に減少し、地権者への助成もなくなる。

国は来年度に限り激変緩和措置を講じた。町の「とも補償制度」を工夫し、前年度並みにした。

**草島建設下水道課長** 土地改良事業費の確保を、国、県に要望する。

新政権は消費税を含めた税制の見直しを表明した  
町民に新たな負担がかからないよう切望する

**問** 年金が月8万円の人  
は、消費税が10%になれ

ば、生活はどうなるか。  
人も企業も力ある者が  
応分の負担をすべきだ。

**健康福祉課長** 社会保障制度の財源に、消費税の議論がされている。

政府は「4年間は消費税を上げない」としているが、町民に新たな負担がかからないよう、切に希望する。

**問** 新政権は後期高齢者医療制度の廃止を先送りした。

保険料引上げが必至の段になって、国庫補助もせず自治体に基金を取崩せというのは横暴ではないか。

**健康福祉課長** 県後期高齢者医療広域連合では、

基金の取崩しなどで、保険料率を据え置く。

並行在来線にJRと国の支援を働きかけよ

国などに今まで以上に働きかける

**問** 新政権が、並行在来線の経営は、「地方とJRが協力して国の支援のもとで」という新方針を出した。この方針の推進を積極的に働きかけよ。

県並行在来線対策協議会が検討している金沢・糸魚川間の運行では、新潟県が参加せず、泊駅止まりとならないか。直江津まで一本化した運営が必要と考えるがどうか。

**副町長** 並行在来線が安定的に経営できる仕組みを、国などに今まで以上に働きかけていく。

協議会は、直江津駅までの利用者は少なく、糸

魚川駅までの運行が適当としており、これをもとに石川、新潟県と協議していくとしている。

防災林の風雪害、これまでの管理に問題がなかったか  
林帯幅の確保などを考慮していく

**問** 風雪により防災林の多くの松が倒れた。密植など、管理に問題はなかったか。

マツクイムシ対策に耐性の強い松の植樹を検討してはどうか。

**建設下水道課長** 被害木は撤去した。県は補植整備を計画している。今後、林帯幅の確保などを考慮していきたい。

他県でマツクイムシに抵抗力のある苗木を植樹しており、参考にしながら対応したい。

子どもたちに作物の栽培、加工、食するまでの体験を

町長 「食育助っ人プロジェクト」で幅広い食育活動を図る



今年も開かれる ヘルパー2級講座

問 地域力と「食育助っ人プロジェクト」を活用して、子どもたちに「大豆100粒運動」やさつまいもなどの栽培・加工、

食するまでの体験をさせてはどうか。

町長 「大豆100粒運動」は、種をまき、育て、さまざまな体験をするなかで、生きる力を身につけるといふ願いで全国的に広がっている。

「食育助っ人プロジェクト」で、達人の熟練した技に触れ、農業体験を楽しく学んでもらう。地産地消、食の安全・安心、幅広い食育活動を図る。

地域密着型事業所への支援強化を

施設の整備支援などを積極的に展開

問 公的施設や空き家な



ど活用して、地域密着型事業所の整備と推進、支援策の強化を進めよ。

健康福祉課長 在宅サービスに対応できる小規模多機能型居宅介護施設の整備支援などを積極的に展開し、介護支援体制の充実につなげる。

質の高い適正なサービス提供に努めていく。

ヘルパー2級講座、現状と経過、今後は

新年度も講座を開催

問 ヘルパー2級講座が終了。働ける場が確保できるのか。現状と経過、そして22年度の予定は。

健康福祉課長 高齢化が

進み介護ニーズがますます増える。有資格者を増やすことにより、担い手不足の解消、新たな雇用創出につながる。

受講者21名全員が資格を取得。職探しやヘルパー登録希望者もあり、再度開催したい。

不用品回収業の実態を把握しているか

トラブル防止に取組む

問 点検商法、不用品回収、古物取扱い業者など、町で実態を把握しているか。こうした業者はどういう許可を得て回収しているのか。古物取扱い業、産業廃棄物収集運搬業の

対象はどういったものか。町の許可権限が無いとすればルールづくりを。

室住環境課長 本町から県への消費者トラブルに関する相談は92件あった。

町への相談は今年度16件あり、トラブルとなった契約額は、上昇傾向にある。

各家庭を巡回し、新聞、家電類などを再生利用する目的であれば許可は不要。引取り費用の有無や処理方法などにより、町の許可が必要なこともある。廃棄物の適正処理の観点から指導をする。トラブル防止へ消費者行政の強化に取組む。

大橋 美椰子 議員



残したい 舟中での伝統行事

## 新政権と町とのパイプについて

町長

与野党を問わず県選出の国会議員を通して生の声を政府に伝え、支援を要望したい



野島 浩 議員

**問** 新政権が発足してから、すでに半年余りが経過したが、陳情や要望の要となる民主党窓口とのパイプは確立できているのか。

**町長** 実際の要望などの流れは、各自治体の要望を、民主党都道府県連で集約し、必要と判断したものについては、党本部組織委員会に送付され、幹事長室、省庁政務三役などで処理するという方法が示されている。

今後の要望活動については、民主党の受付ルールに沿って行う。  
また、地域の実情をより理解している県選出の国会議員を通して、要望書だけでは伝わらない生の声を政府に伝え、町の重点事業への支援を要望していく。

県道黒部朝日公園線  
拡幅の見通しは  
県へ積極的に働きかけていく

**問** 新幹線開通を4年後に控え、県道黒部朝日公園線の整備計画と今後の見通しは。

**建設下水道課長** この県道は、主要地方道と位置づけられており、新幹線の新駅に通じる重要なアクセス道路であることから、早急な整備が待たれる路線である。

県単独の道路改良事業として、平成18年度より順次着手されている。  
町でも拡幅整備に関する要望書を、毎年、県へ

提出し、早期完成を強く要望している。

今後の見通しとしては、道路幅の狭い野中地区で、継続的な整備を予定している。

他の区間は、現在の区間が終了した後に着手する予定である。

今後も継続的に計画が策定されるよう、県へ積極的に働きかけていく。

舟中の伝統行事を取り入れてはどうか

教職員・生徒会と相談し、検討したい

**問** 舟見中学・入善中学校統合後の授業や生徒会活動に、舟見中学校で行われて来た伝統的な行事を取り入れてはどうか。

また、円滑な統合の進捗をみるための新たな体

制づくりを考えたらどうか。

**柳沢教育委員長** 統合後の授業や生徒会活動においては、両校教職員や生徒会役員などで話し合い、舟見中学校で行われてきた「百人一首」などの伝統的行事の取り入れについて検討していきたい。

また、統合後、円滑な進捗を見るためにも、新体制での入善中学校PTAが、その役割を引き継いでいくものと考えられる。

さらに、保護者や地域の人達の意見や要望などが反映される体制づくりも大切だと考えている。  
引き続き、学校や保護者代表の方々とも十分協議しながら、この問題について検討していきたい。



## 越中にいかかわ観光圏 町は存在をどう示すか

### 町長 「体験する・学ぶ旅」を具体化していく

**問** 三市二町の加入する越中にいかかわ観光圏で、町は存在をどのように示すか。

不足している。

町長のリーダーシップに期待したい。

生活には恵まれた環境であることから観光面に対するハングリー精神が

流になってきている。

こうした新しい視点で、

観光、そして旅を創造、具体化していくことによつて、観光圏で存在を示したい。

**問** にゅうぜんフラワーロード2010は、入善スマートICに隣接して行われる。

にいかかわ観光圏の目玉にもなり得るイベントであり、常設展示について町の決断に期待したい。

より多くの観光客を呼びこもうとする場合、常設展示は必要と考える。次年度以降に向けての課題としたい。

**町長** より多くの観光客を呼びこもうとする場合、常設展示は必要と考える。次年度以降に向けての課題としたい。

**戸別所得補償制度の対応は**

**激変緩和措置  
次年度以降に課題**

**問** 本格実施に向けて新年度より戸別所得補償制度のモデル事業が導入される。水田利活用自給力向上事業では、生産調整を行った地権者への助成制度はなくなる。

将来展望の見えない農政にどう対処するか。とも補償基金制度をどう

のように進めるか。

**農水商工課長** 制度変更に伴い、地域の生産体制が維持できなくなる恐れがあるため、激変緩和措置が講じられることとなった。町へは1億1千万円余りの仮配分が行われる。この調整枠については、水田農業推進協議会において加算内容の設計を行っており、現行制度とほぼ同様の水準になる。

この激変緩和措置は、平成23年度以降は約束されておらず、従来の生産体制が維持できるか心配である。

また、これまで培ってきた集団転作の流れを維持していくことが不可欠である。

麦や大豆などを生産する担い手の農家からも、一定額を拠出してもらい、町、JAみな穂も拠出し、基金を造成し、地権者へ

助成する仕組みとしたい。

**地域コミュニティの諸団体活性化策は**

**地域力の向上は急務**

**問** 地域コミュニティの基礎的団体の弱体化、解散など危機に瀕している。これら諸団体の活性化をどうする。

**田中総務課長** 地域支援のための「地域コミュニティ・パートナーシップ事業」をモデル的に実施する。

「自助・共助」の推進のため地域力の向上は急務である。将来にわたり持続できる組織の在り方など、地区住民が自ら地区の実情に合った、組織の体制や、町との協力関係を検討してもらおうものである。

「自助・共助」の推進のため地域力の向上は急務である。将来にわたり持続できる組織の在り方など、地区住民が自ら地区の実情に合った、組織の体制や、町との協力関係を検討してもらおうものである。



北アルプスを背景に220万本



鬼原 征彦 議員

# 生涯現役

脇坂 ただ 終さん 103歳  
(舟見)



## 二〇一〇年 花の年にしましょう

花たちは、精一杯咲いて  
自然に散っていきます。  
その姿の美しいこと！  
やさしく

あつたかい花たち  
私たちも花たちのような世の  
中を作りましょう。  
今より、もっともつと幸せな  
世の中を。

この詩は、寿楽苑2010  
年度版のカレンダーを作成し  
た際に、表題に掲げられた自  
作の詩です。  
自ら「ひとりよがりのもの  
を描いて楽しんでます。い  
つの間にか百歳を越えていま  
した」と話される。  
花を愛で、幸せを願う脇坂

さんからは、優しさと年齢を  
感じさせない強いオーラさえ  
感じます。

今、注目を浴びるアーティ  
スト脇坂さん。昨年、内閣府  
のエイジレス・ライフ実践賞  
を受賞されました。

特別養護老人ホーム舟見寿  
楽苑の、新築されたユニット  
棟に住まわれる脇坂さん。  
その描かれる絵は、多くの  
人々を引き付けています。

### 素晴らしい苑での 心温まる交流

脇坂さんの朝は早い。

「今は、4時半頃に起きる  
かな。もう少し暖かくなれば  
4時だね」と話されます。

朝起きて、自分でお茶を入  
れ、1杯は自分が飲み、あと  
の1杯は、友人の写真の前に  
置かれます。

「これが私の楽しみです」  
と、にこやかに…。

「テレビは目が疲れるから  
最近は見ないの。その代わり  
新聞は毎朝読むよ。でも、良  
い事があまりないよね」と、  
新聞3紙に目を通されます。

毎朝1個の梅干が活力の源。  
好き嫌いもなく食欲もある。

苑での食事が薄味すぎると、  
ちよつぱり不満も。

「昔から、濃いめの味が好  
きだけど、わがまま言えんよ  
ね」と、ちやめつ気たつぷり  
に。

いつしか部屋には、お友達  
や、近所の方々が集い、和や  
かな時間が流れます。

今回お邪魔した際にも「も  
うすぐ山菜の時期だから、近  
所の方に竹の子を頂いたら、  
ご馳走するからまたおいで」  
と、自然と心温まるふれあい  
が生まれていきます。

### 思いのままに 幸せを描く

脇坂さんが、絵を描き始め  
たのは6年前。趣味の詩や俳  
句に絵を添えれば、もつと自  
分の心を表現できるのではと、  
始めたのがきっかけです。

「画家で教師だった亡き主  
人と、半生を絵の中で暮らし  
ていたからかもしれない」  
と、思い出の日々が甦ります。

一つのモチーフを描きなが  
らも、心の動きでいろいろに  
広がっていく。

「結局、私の絵は『想画』  
といいましょか」と、描い

た絵は100枚以上にもなり  
ました。

今は何を描いているのかお  
聞きすると、「ここ3カ月1  
枚も描いていないんです。最  
近は、気分が乗らないから描  
く気にならないの」と、きつ  
ぱり言いきる脇坂さん。

しかし、内緒話のように、  
急に小声になって、想いやテ  
ーなど細かい部分まで驚くほ  
どに、その構想を頭の中で練っ  
ていることを話しだされる。

「健康の許す限り、心のま  
まに、描いて楽しみたい」  
その情熱がまた湧き出てく  
る日も近いように感じられ、  
脇坂さんの笑顔が輝いて見え  
ました。



## 編集の窓

厳しかった冬の年ほど、  
桜はきれいに咲くといわれ  
ます。厳しい就職戦線に乗  
り越えて、新しい門出を迎  
えた新人の皆様も職場に清  
新な風を送り、きれいな花  
を咲かせてくれるでしょう。  
さて、新年度予算が議決  
されました。予算の特徴は  
総合計画の最終年であり、  
平成23年度スタートする新  
総合計画の準備の年でもあ  
ります。

今日までの10年間我々は  
なにを求め、成果を挙げて  
きたのか検証する1年にも  
なります。また今後何に向  
かって進むのか、人口減少、  
少子高齢化の進展、市場経  
済の縮小と厳しい課題ばか  
りが目につきますが、健全  
財政を維持し、地域間競争  
に打ち勝つ意欲を持って取  
組んでまいります。

### 議会広報編集特別委員会

- |      |        |
|------|--------|
| 議長   | 松澤 孝浩  |
| 委員長  | 長田 武志  |
| 副委員長 | 松田 俊弘  |
| 委員   | 大橋美 椰子 |
| "    | 鬼原 征彦  |
| "    | 笹島 春人  |
| "    | 野島 浩   |